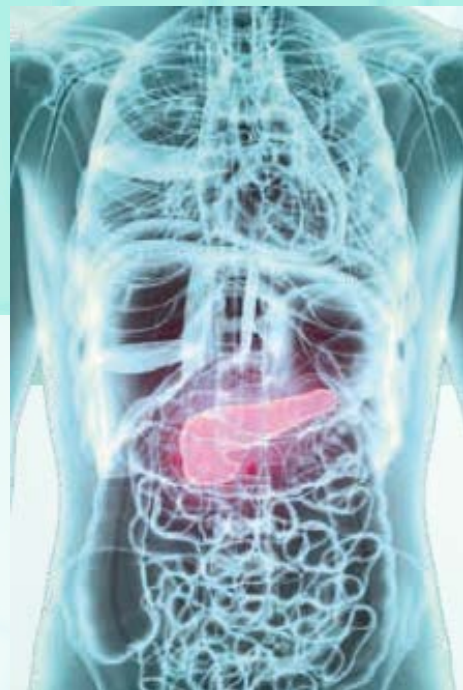


膵臓ドック のご案内



膵臓がんは症状が出にくいいため早期発見の難しい病気です。見つかった時には手術ができないことも多く、**ガンによる死亡数第4位**の悪性度の高いがんです。一般的な健診・人間ドックでは発見できないことも多く、より専門性の高い検査である膵臓MRIをおすすめします。

このような方
におすすめします

- ▶ 家族に膵臓がんになった人がいる方
- ▶ 糖尿病の方(特に最近糖尿病を発生した方)
- ▶ 飲酒量が多い方
- ▶ 肥満の方
- ▶ 喫煙している、またはしていた方
- ▶ 慢性膵炎の方

※腹部超音波検査で膵臓が見えにくいと言われたことがある方も一度詳しく検査することをお勧めします。

検査内容

MRI検査
腫瘍マーカー
(CA19-9、APOA2)

検査日時

月・水・金曜日
※Web予約は水曜のみ

検査料金

39,800円(税込)

※検査日時について、ご予約時期によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

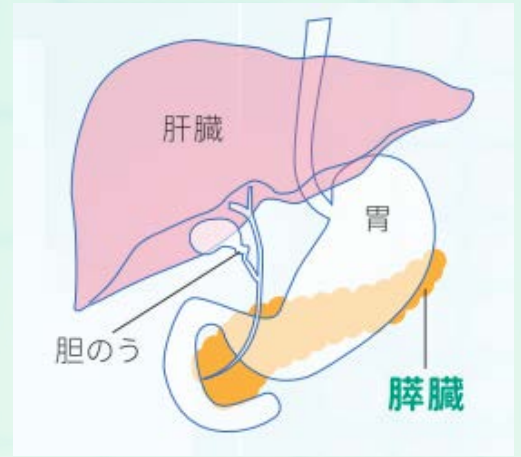
詳しく内容は裏面をご覧ください

膵臓がんについて

膵臓がんの主な症状には腹痛、食欲不振、腹部膨満感、体重減少、黄疸、腰や背中の痛みなどが、ありますが症状が出てくる頃には既に進行がんであることが多いのが現状です。*

膵臓は胃の裏側に位置するため腹部超音波検査では見えづらいこともあり、一般的な健診・ドックだけでは発見できないことも多い病気です。膵臓がんの危険因子(表面参照) に当てはまる方は、症状がなくても定期的に検査を受けましょう。

※すい臓がんの5年相対生存率8.5% 「がんの統計2024」より



膵臓がんは初期段階では症状がほとんど現れず、病気を進行させてしまうため、「沈黙の臓器」と言われています。

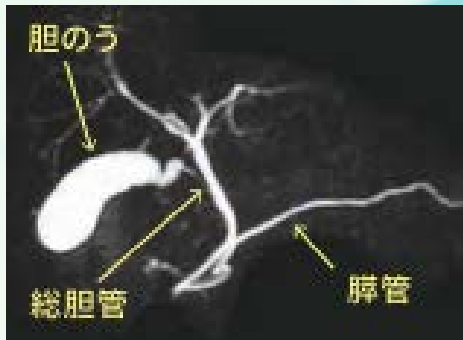
APOA2検査について

膵臓がんの新しい腫瘍マーカーです。CA19-9(従来の腫瘍マーカー)と組み合わせるとステージ1の膵臓がんでの陽性率は63.2%と向上します。

MRCPについて

放射線被ばくのないMRI機器を用いた検査です。経口消化管造影剤(内服薬)を使用することで、膵管・胆管・胆のうが見えやすくなり、膵臓がんの前段階によく見られる病変(膵臓のう胞性病変など)を見つけることで早期診断、早期治療に繋がります。また、膵臓以外にも胆管や胆のうの病気も見つけることができます。

※MRCP単独検査の膵がん診断における感度は95%という報告があります。「膵癌診療ガイドライン2022」より



実際のMRCP画像



良性病変画像



悪性病変画像

※腫瘍による膵管閉塞の拡張が見られる

【注意事項】

- MRI検査を行いますので、ペースメーカー等の医療機器等が体内に入っている方は、検査をお受けいただけません。
- 検査中に呼吸指示(息止め)があります。
- ※息止め不良の場合、正確な検査ができないことがあります。予めご了承ください。
- ※その他注意事項ありますので詳しくは横のQRコードにてご確認ください。

詳しい注意事項
はこちらから



ご予約・お問合せはこちらまでお気軽にご連絡ください。また、Web予約も可能です。



南東北グループ 医療法人財団 健貢会

東京クリニック

TEL : 03-3516-7151

電話受付時間 : 月~土曜日

9:00~17:00

Web予約は
こちらから

